

かたむけ
おうちの方向け

ほけんだより

まなび
【プライベートゾーンについて学びました】

がつ 10月20日(水)に「じぶんの体をまもろう」をテーマに、プライベートゾーンについての授業をしました。

まず、作・えんみさきこ、絵・かわはらみずまる『だいじだいじどこだ?』という絵本の読み聞かせをしました。作者の遠見才希子さんは、産婦人科医であり、医大生の頃から今までに900カ所以上の学校で性教育の講演をされてこられた方です。

この絵本は、「からだのだいじなところってどこかしってる?」という問いかけから始まります。そして、「からだはどこもだいじ」であることを前提として、「プライベートゾーン(この絵本ではプライベートパーツと呼んでいます)は特別に大事なところ」であること。「見るのも触るのも自分だけ」、「他人にさわられそうになったときはいやだと言う、逃げる、大人に言う」、「もし言えなくても自分は悪くない」ということを伝える内容です。

授業の始めに子どもたちに対して、みんなは一人ひとりがかけがえのないとても大切な存在であること、そんなみんなを守るために、みんな自身が自分を守る方法を知ることが、とても大切であることを伝えました。読み聞かせの後に絵本の内容にふれながら、自分の体の仕組みや、守らないといけないプライベートゾーンのルール、もしもの時にとるべき行動を学びました。

また、けがや病気の際はプライベートゾーンであっても、自分を守るためにおうちの人や医師に診てもらうことが大切であることも伝えました。保健室でも、けがや体調不良の子どもの様子を確認する場合は、うでや足のケガであっても必ず事前に本人に確認し、同意を得てからみえています。「先生にみせにくいときは、おうちの人に連絡するからいつでも言ってね。」とも伝えていきます。

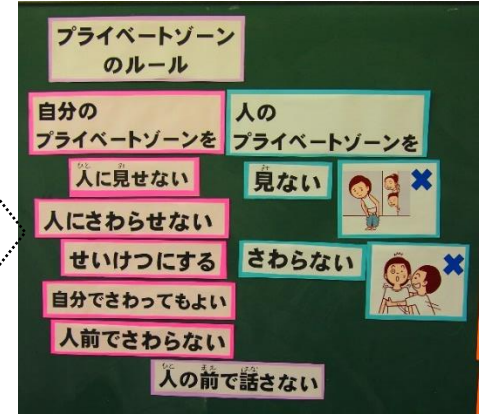
プライベートゾーンとは、口と、水着で隠れるところのことを指します。水着で隠れるところは、胸、性器、お尻のことで、性器は、体の中につながる、命につながる臓器であり、男女でちがいがあつておさえました。自分だけの大事な場所だから、下着や服を着て守っていることを確認しました。

かどましりつすなごしょうがっこう
門真市立砂子小学校
ほけんしつ ねんせいとくべつごう
保健室 1年生特別学
2021. 10. 27(水)



べんきょう そうだん びょうき けが いがい はんぶん
勉強や相談、病気やケガのとき以外は、おもしろ半分
ぶらいべとぞーん からだ ひとまへ はなし
プライベートゾーンや体のことについて、人前で話をしないことを
まなび
学びました。「言っちゃってた…」と自分の言動をふり返る様子もみ
られました。
がっこう とく たいそうふく きがえる ひと
学校では、特に体操服に着替えるときに、人のプライベートゾ
ンをのぞかない、そして自分のプライベートゾーンを見せないことを
きをつけようと伝えました。

もしも、プライベートゾーンのルールをやぶる人に出会ったときに、自分を守る方法を学びました。「にげる」「ことわる」はとっさの場合できないかもしれないけれど、それは決してみんなが悪いわけではないということ。信じて話せる「大人に言う」ことは必ずしてほしいと伝えました。また、そのルール違反をする人は、「あやしい、知らない人」だけではないということも伝えていきます。
ふりかえりにしたクイズの「プライベートゾーンを見せられて、”ひみつだよ”っていわれたらどうする?」という問いに、子どもから「ひみつにしてあげる」や「(見たことを)忘れてあげる」という答えも出ました。「プライベートゾーンのルールを守っていないから、”ひみつだよ”って言われても、必ず大人に言ってね」と伝えましたが、具体的な場面を伝えて、「こういうときはこうする」ということ教えていくことの重要性を感じました。



ご家庭でも今回の授業をきっかけに、プライベートゾーンのこと、性のこと、自分を守ることなどについて、話していただければと思います。性教育はいのちにかかわる教育です。学校と家庭で協力して行っていくことが重要だと考えています。授業の内容等でお聞きになりたいことがあれば、いつでも保健室の長浜までお問い合わせください。

【授業の参考・引用した本のご紹介】
おうちせいきょういく いちばん ぼうはん せつくす いのち つたえかた ちよしゃ ふくちまみ むらせゆきひろ
「おうち性教育ははじめます 一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方」 著者:フクチマミ 村瀬幸浩
いらすとれーたー にじ はは ふくちまみ こうこう だいがくきょういん へてながねんせいきょういく
イラストレーターで二児の母であるフクチマミさんと、高校・大学教員を経て長年性教育に
たずさわつて むらせゆきひろせんせい こみつくえつせい せいきょういく はーどる たかい
携わつてきた村瀬幸浩先生によるコミックエッセイ。性教育とあるとハードルが高いかもしれませんが
ほんしょ こども しあわせ いきて てだすけ かんがえる してん ちしき
本書は「子どもが幸せに生きていくためにどんな手助けができるか考える」という視点から、知識だけでなく、幼児期からの声かけや接し方についてもまとめてあります。オススメの一冊です。

